

Mizuho Daily Market Report

2024/10/18

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	149.76	150.21	+0.57	+1.64
EUR	1.0853	1.0831	▲0.0031	▲0.0103
AUD	0.6676	0.6696	+0.0029	▲0.0043
SGD	1.3141	1.3143	+0.0009	+0.0087
CNY	7.1270	7.1229	+0.0033	+0.0464
MYR	4.3130	4.3090	+0.0120	+0.0165
THB	33.22	33.22	+0.02	▲0.37
IDR	15507	15495	▲18	▲170
PHP	57.83	57.83	+0.08	+0.48
INR	84.05	84.07	+0.07	+0.09
VND	25180	25177	+193	+332

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.091%	+7.8 bp	+3.0 bp
日本(10年)	0.969%	+1.1 bp	+0.9 bp
ユーロ圏(10年)	2.208%	+2.4 bp	▲4.8 bp
オーストラリア(5年)	3.898%	+5.2 bp	+2.1 bp
シンガポール(5年)	2.669%	+4.0 bp	▲12.8 bp
中国(5年)	1.777%	▲3.8 bp	▲6.3 bp
マレーシア(5年)	3.536%	+0.0 bp	▲2.6 bp
タイ(5年)	2.150%	▲9.3 bp	▲13.0 bp
インドネシア(5年)	6.415%	▲0.8 bp	▲3.0 bp
フィリピン(5年)	5.540%	▲0.7 bp	▲2.0 bp
インド(5年)	6.688%	+0.6 bp	▲0.5 bp
ベトナム(5年)	1.990%	+2.0 bp	+2.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	43,239.05	+0.4%	+1.8%
N225(日本)	38,911.19	▲0.7%	▲1.2%
STOXX50(ユーロ圏)	4,947.30	+0.8%	▲0.5%
ASX(オーストラリア)	4,581.39	+0.7%	+1.8%
FTSE1(シンガポール)	3,625.25	+1.0%	+1.1%
SSEC(中国)	3,169.38	▲1.0%	▲4.0%
SENSEX(インド)	81,006.61	▲0.6%	▲0.7%
JKSE(インドネシア)	7,735.04	+1.1%	+3.4%
KLSE(マレーシア)	1,641.44	+0.5%	+0.0%
PSE(フィリピン)	7,400.33	▲0.5%	▲0.2%
SETI(タイ)	1,495.02	+0.7%	+1.8%
VNINDEX(ベトナム)	1,286.52	+0.6%	+0.0%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	281.71	▲0.0%	▲3.1%
金	2,692.71	+0.7%	+2.4%
原油(WTI)	70.67	+0.4%	▲6.8%
銅	9,384.92	▲0.4%	▲2.1%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	147.60	—	150.80
EUR/USD	1.0820	—	1.1250
AUD/USD	0.6680	—	0.6960
USD/SGD	1.3060	—	1.3230
USD/CNY	7.0560	—	7.1290
USD/INR	4.1200	—	4.3230
USD/THB	31.90	—	34.05
USD/IDR	15400	—	15750
USD/PHP	55.30	—	57.80
USD/INR	83.30	—	84.20
USD/VND	24,100	—	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は149円台半ばでオープン。日経平均株価が下げに転じたほか、中国当局が打ち出した不動産支援策が市場の期待に届かなかったことで中国株が下落する展開に、ドル円相場は一時149円台前半まで下落。ただ、一巡後は海外時間に米小売売上高の発表を控え149円台後半まで買い戻され、同水準で欧州時間へ。アジア通貨は全般に軟調な動き。ここもとの中国経済の減速を受けてか、下落幅が目立ったベトナムドンは前日比0.8%安。

欧州時間のドル円は149円台半ばでスタート。アジア株が軒並みに軟調な展開を受け、ドル円は149円台半ばで値重い推移が続く。その後は米金利の上昇を受け、149円台後半まで上昇するもその後失速し、149円台半ばでNYオープン。朝方に発表された米9月小売売上高(前月比)が予想を上回ったことや、米新規失業保険申請件数も予想より良好だった事を背景にドル買い優勢の流れへ。ドル円は150円台に乗せ、午後は米長期金利が高水準で推移する展開が支えとなり150円台前半まで上伸、小幅に値を戻すも同水準でクローズ。

【金利】

昨日の米債利回りは上昇。取引閑散となったアジア時間およびECBを前に様子見の状況が続いた際のリスクオフが警戒される一方、米国では底堅い推移を続ける経済指標が確認されているほか反応。米10年債利回りは前日比7.8bpの上昇となった。

【予想】

本日のドル円は堅調推移を予想。本日は中国3Q GDPの発表が予定されており弱いデータが出てきた際のリスクオフが警戒される一方、米国では底堅い推移を続ける経済指標が確認されているほかドル高材料とされる大統領選におけるトランプ氏の勝率上昇が報じられており、ドル売りとはなりづらい地合いが継続していると見ている。

【本日の予定】

(日本) 9月 全国CPI
(アジア) 3Q マレーシア GDP
(アジア) 3Q 中国 GDP
(アジア) 9月 フィリピン 総合国際収支
(アジア) 9月 マレーシア 貿易収支
(アジア) 9月 中国 不動産投資 / 住宅不動産販売 / 調査失業率
(アジア) 9月 中国 新築住宅価格 / 中古住宅価格
(アジア) 9月 中国 鉱工業生産 / 小売売上高 / 固定資産投資
(欧州) 10月 英 CBI楽観指数
(欧州) 8月 ユーロ圏 ECB経常収支
(欧州) 8月 ユーロ圏 建設業生産高
(欧州) 8月 伊 経常収支
(欧州) 8月 西 貿易収支
(欧州) 9月 英 小売売上高
(米国) 9月 住宅着工件数 / 建設許可件数 / 住宅建設許可
(米国) カシカ・ミネアポリス連銀総裁講演

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。